

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	地域の中に根ざし、その人らしい生活が営まれるよう、事業所として事業所としての理念を作りあげている。	○ 左記に実施している。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	ケア理念が居間に掲示されている。職員のネームプレートにも理念が明記され、日々確認している。	○ 左記に実施している。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。	入居時に文書を交付し、十分な説明がなされており、玄関や居間に掲示して浸透させている。	○ 左記に実施している。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	夏には植物鑑賞コーナーや玄関にはホームの生活様子を伝える写真等掲示している。行事へのお誘いをし、こりゅうの促進を目指している。隣近所から、野菜や花の差し入れ等がある。関わりが強くなって来ている。	○ 左記に実施している。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	回覧板の行事案内を通して地域行事に参加している、地元の人との交流に務めている。運営推進会議を中心に情報を発信している。(もちつき大会、朝市、音楽会)	○ 左記に実施している。
6	○事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	庭先で行うホーム行事やインフォーマルによる行事の際、話し合いをしている。運営推進会議を中心に情報を発信している。	○ 左記に実施している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	職員個々に自己評価を実施している。そして話し合いをしまとめ、一丸となり改善活動に取り組んでいる。	○	左記に実施している。
8 ○運営推進介護を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月毎実施の推進会議の声を、管理者会議の場を通してサービスの中に活かしている。	○	左記に実施している。
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	グループホーム管理者連絡会議・地域連絡会議への参加を通してサービスの中に生かしている。	○	左記に実施している。
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	権利擁護、虐待に関する学ぶ機会を設けている。「グループホームの倫理」を居間に掲示し日常的に「」遵守している。	○	左記に実施している。
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。	「虐待に関する研究会」等に参加し法例並びに防止について学び発声防止に努めている。身体拘束委員会を開催している。	○	左記に実施している。
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約・解除に関する際は文書にて懇切丁寧に十分説明し理解納得を図っている。解約に際しては、至るプロセスを精査し、利用者・家族が希望する最良の選択が出来るよう支援する体制がある。	○	左記に実施している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日常コミュニケーション場を通し皆さんの意見吸収に努めている。ミーティング等の場を通し共有化し運営に反映させている。日常的には、ミーティングノート等に記入し反映できる体制になっている。	○	左記に実施している。
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	金銭管理は、現金出納帳に記載し、月次報告を行っている。日常生活の様子やホームの出来事等は「里だより」等で都度報告している。	○	左記に実施している。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会や来訪時にホームへの運営要望について、入居段階から運営に関する意見要望を聞き反映させている。日常的に関係作りに努めている。	○	左記に実施している。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	肩肘を張らずに、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設定している、そして反映されている。	○	左記に実施している。
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	レクリエーション・外出・環境整備の日等、状況に応じてスタッフを配置している。シフト変更等職員が理解している。	○	左記に実施している。
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	人、ハード面を含め運用がされている。チームケアをもってカバーしている。良好な関係作りに努めている。	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> <p>個人別の課題を設定し、スキルアップの機会を与えている。OJT手法を持って即時対応している。</p>	○	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> <p>業務を通して可能な限り参加に繋げている。</p>		
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>メンタルケアの自己診断を実施している。面談、コーチング、親睦会等設定し心身のストレス緩和に取り組んでいる。</p>		
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p> <p>自己評価アンケート、職能等級評価表に年間目標をたてつなげている。</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>役割分担をし、本人の思いを考慮し信頼関係作りに心掛けている。</p>	○	左記に実施している。
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>家族が困っていること、不安なこと等傾聴し受容する体制にある。</p>	○	左記に実施している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居希望の場合は、あらゆる可能性を精査して、ポジティブな検討し判断している。	○	左記に実施している。
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	リロケーションダメージを最小限に食い止める為、利用者の情報取得等に努め、家族などとの連携で馴染める環境作りに努めている。	○	左記に実施している。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	利用者の経験してきたことや得意とする場面では、日常的に助言をしてもらっている(園芸・調理・行事の作品制作・しきたり・作法等)	○	左記に実施している。
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	バーベキュー会・誕生会・敬老会・家族会の行事や、散歩外出等交流の機会を設定している。参加出来ない時、電話等を活用し関わりを持っている。	○	左記に実施している。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	居室に家族や友人が宿泊できる受け入れ体制が整っている。家族訪問を心から歓迎し、心地よく過ごせるように心がけている。	○	左記に実施している。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族・友人の来訪や電話など交流の機会があり、一人ではないという安心感を得ながら暮らしている。手紙を書く支援を実施している。	○	左記に実施している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	利用者それぞれの得意分野や持てる力により、役割が自然に発生している。持っている力が発揮出来る場面作り、関係作りをしている。メニュー書き・日巻きカレンダーめくり・新聞整理等がある。	○	左記に実施している。
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	継続的な関わりを必要とする利用者や家族に希望があれば関連情報伝達や関連機関との連携できる体制にある。	○	左記に実施している。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	心身共に自由な暮らしが出来るように、日常的に意向を把握し配慮している。	○	左記に実施している。
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ピアノを弾きたい人、遅くまでテレビを見たい人、ソファーに寝転がりたいたい人等それぞれの暮らしぶりを尊重し大切にしている。	○	左記に実施している。
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	出来ないことを支援出来ることを把握し自身に繋がるよう心掛けている。喜怒哀楽の表出感情豊かに毎日を過ごしている。	○	左記に実施している。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	基本情報と関連情報からの情報収集などを行い、観察と気づきを介護記録に詳細に残し、職員個々の視点を反映させ課題抽出している。	○	左記に実施している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	利用者個々の変化に、より深いアセスメントを行う事により、利用者最優先の介護計画を作成している。	○	左記に実施している。
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日常の暮らしの様子や言動、介護記録等により正確に記録し介護計画に生かしている。	○	左記に実施している。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	要望には最大限応えられるよう体制は整えている。	○	左記に実施している。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	町内会役員や職員の地域ボランティアの紹介でお茶会や三味線の演奏・舞踊会等を企画し皆さん楽しんで頂いている。	○	左記に実施している。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	他のサービスを必要とする場合、その体制は在る。	○	左記に実施している。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	隔月に地域包括支援センター参加の「地域推進会議」を開催するなど、支援センターと協働する体制は整っている。	○	左記に実施している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	隔週毎、掛かり付け医による往診体制をとっている。24時間の緊急時対応の訪問看護を提携先の医療機関と契約している。	○	左記に実施している。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	日々の症状が診療に反映され心身共に落ち着いた生活が営める様、精神科専門医との連携体制をとっている。	○	左記に実施している。
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	毎週木曜、提携先の医療機関連携体制をとっている。日常生活様子や気掛かりな症状などについて、医師との連携をとり、ホームへの生活復帰を最優先させている。	○	左記に実施している。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院の際は、治療内容の説明と見直しについて、医師との連携をとり、ホームへの生活復帰を最優先させている。	○	左記に実施している。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	重度化方針によって同意書が交わされている。方針共有化している。	○	左記に実施している。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	重度化や終末期に向けた支援で「掛かり付け医」とともに「チーム」としての支援ができる体制にある。	○	左記に実施している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 ○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	リロケーションダメージに伴う、ストレスを最小限に食い止める為、ケア関係者間で十分な話し合いや情報交換ができる体制にある。	○	左記に実施している。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	個人情報取扱い諸規定「実施要領」を設けている。 ※例:個人情報「印刷物・電子媒体」発行保管管理について等 「管理しなければならない会社情報」をテーマに職員学習会を]実施している。	○	左記に実施している。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	常日頃、分かり易く、具体的な話方に努めている。短く、はっきりと、優しく、具体的に馴染みのある言葉で説明し、利用者一人ひとりの力が自然なかたちで発揮暮らせるよう支援している。思いの表出を大切にしている。	○	左記に実施している。
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者一人ひとりが束縛のない、心身共に自由な暮らしが出来るよう自己決定を優先している。その人らしい暮らしが出来るよう支援している。例:服装については季節に即した装いになるよう愛護的に声掛けしている。	○	左記に実施している。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	利用者一人ひとりの個性を大切にしている。定期的な訪問理美容をりようしており、好みのスタイルを美容師に自ら伝えられるようにサポートしている。	○	左記に実施している。
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	「食事を作る楽しみ」「食べる楽しみ」を皆さんに感じとって頂けるよう努めている。野菜切り・味付け・盛り付け等その人の力に合わせて参加していただいている。	○	左記に実施している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	日常嗜好品等は日々の会話などで嗜好を聞き嗜好品の提供に生かしている。お酒は年末年始・バーベキュー会等で楽しめる支援をしている。	○	左記に実施している。
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	排泄チェック表や様子の見守りにより、サインを見逃さないように過剰にならないように注意し、誘導自立支援を行っている。	○	左記に実施している。
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	可能な限り、希望の時間帯にゆったりと入浴できるように調整している。持病を考慮し、本人に適した時間や温度を把握している。	○	左記に実施している。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	睡眠データを生活のパターン作りの参考にし、安心と安眠が得られるように、夕方に向けて穏やかに過ごすようにしている。	○	左記に実施している。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	ホーム内での出番や楽しみ毎が見出せるように(テレビ・ラジオ・CD・DVD・週刊誌・植物水遣り・食器洗い・掃除・衣類畳み・新聞とり等)場面の支援をしている。	○	左記に実施している。
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	本人と家族で話し合いながら力量に応じて対応している。買物の場面では、利用者自ら支払いをする機会をつくっている。	○	左記に実施している。
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	天気の良い日には、積極的に車椅子などで散歩・散策に出掛ける機会をつくり外出の支援をしている。	○	左記に実施している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	音楽会・図書館・ショッピング等は毎月の計画の中に組み入れている。一人ひとりの希望実現に向け支援している。	○	左記に実施している。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	折りにふれ、絵手紙等の通信支援を行っている。電話はプライバシーに配慮し、居室でゆったり会話ができるようにしている。	○	左記に実施している。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	家族や馴染みの人が気軽に訪問でき、居心地良く過ごせるよう(雰囲気・歓迎・湯茶の利用、きよしへの宿泊等)心掛けている。	○	左記に実施している。
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	研修会等を通して身体拘束に関する知識等を深め、自由な行動を制限しないケアの実践について、職員間で共通認識として周知徹底している。「身体拘束しないケアの実践」について「身体拘束廃止委員会実践要領」に明記している。	○	左記に実施している。
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	ドアベルやセンサー等で、失見当識のある利用者の無断外出を察知できるようにしており、施錠をしても外出の見守りが出来るよう配慮している。	○	左記に実施している。
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	居間では常時職員が見守りし、不在になる時は職員間で声掛けを徹底している。職員が常時いる居間は居室に取り囲まれるような配置となっており安全見守りに配慮された建物となっている。	○	左記に実施している。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	薬・洗剤他危険物の保管は、所定の設置場所が定められており、誤飲等の事故に繋がらないようにしている。又食べ物と間違える物等は共用場所には置かないようにしている。	○	左記に実施している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	下肢筋力や嚙下代謝向上を目的に棒体操(ストレッチ)や嚙下体操等運動を取り入れ事故防止に努めている。又日常に於ける職員共通の学習資料として活用している。	○	左記に実施している。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	「緊急時対応マニュアル等」を落とし込みした指図書を作成している。必要とする指示内容が図解等で分かり易く記載緊急時に対応できるようになっており所定場所に保管されている。又日常に於ける職員共通の学習資料として活用している。	○	左記に実施している。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	災害対策「指図書」「指導書」を作成し、万が一に備え日頃シュミレーションを実施している。又、町内会・消防署の協力の下「火災避難訓練」を実施している。	○	左記に実施している。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	「ひやりハット」「事故報告」書で要因分析し危険予知や事故予防に努めている。対策後は実施評価をし事故の再発防止、日常介護の質向上に努めている。	○	左記に実施している。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日のバイタルチェックを始め、日常的に顔色等身体状況を観察し、前兆を見逃さずに早期発見に努めている。介護記録等には詳細に記録されている。	○	左記に実施している。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	処方の変更等は口頭・受診結果報告書・連絡帳・介護記録等で重層的に確認が出来る。効用・用法・副作用等は処方箋で確認をしている。特筆すべき事項は「個人情報シート」に記載してある。服薬時は名前を読み上げ、誤薬防止に努めている。	○	左記に実施している。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	職員は便秘の原因や便秘が及ぼす血圧への影響等について理解している。予防対策として食事は繊維質の多い食材に心掛けている。又「棒体操」等では便秘対策、運動動作を取り入れている。可能な限り自然排便に繋がるよう対応している。	○	左記に実施している。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後、歯磨き・入れ歯洗浄を実施している。合わせて洗腔液や舌ブラシも利用し、口腔内の清潔保持に努めている。	○	左記に実施している。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	一日の水分摂取量は、「水分チェック表」に摂取カロリー量は「週間メニュー表」「温度板」「介護記録」「定期的な血液検査」等で把握している。	○	左記に実施している。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	「感染症対策マニュアル」を遵守しインフルエンザの予防接種・手荒い・うがいを励行している。調理器具やトイレ等共用スペースは「除菌・消毒指図書」を作成し、指図書に基づき消毒を日常定期的に実施している。	○	左記に実施している。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	食材の保管についても定期的にチェックを実施している。結果は「冷蔵庫内他食品関係(賞味期限他)チェック表」に記し食の安全と新鮮な食材使用に努めている。	○	左記に実施している。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	夏に「プランタコーナー」を設置、「ベンチやテーブルコーナー」を設け皆さんで親しんで頂ける工夫に努めている。又、ホームの案内板は分かりやすいデザインや位置に配慮されている。	○	左記に実施している。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	利用者に刺激を与えないように穏やか会話に心掛けている。テレビやCDの音量に配慮し調整、レースのカーテンで直射日光を遮っている。ホームはととも緑豊かな静かな環境にめぐまれている。散歩で摘んだ草花、近所から頂いた季節の花を飾ったりしている。	○	左記に実施している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	玄関の踊り場にソファを設置し、居間から離れて一人の時間を楽しんだり、気の合った同志で過ごしたり、スタッフとのコミュニケーションの場所を確保している。	○	左記に実施している。
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いたくしたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室の入り口には表札が掛けられ混乱しないよう対策がされている。居室は慣れ親しんだ家具が置かれている。又、利用者が作成した絵や折り紙等が貼られ季節感や家庭的温もりを感じる居室となっている。	○	左記に実施している。
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	通年室内を快適にする為、温度、湿度の測定を行い快適な室内環境が確保されるように取り組んでいる。(加湿・除湿・換気・室内の温度差)	○	左記に実施している。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している。	脱衣場、浴場の段差解消。歩行・便座手摺りの取り付け、車椅子対応洗面台の設置、カラー引き手の取り付け、夜間居室の照明の見直し等身体機能状態に応じた環境作りをしている。整備に取り組んでいる。	○	左記に実施している。
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	環境整備には常に気を配り、スタッフによるチェックを徹底(例:カーテンの状態に不具合がないか)している。利用者が錯覚や幻覚を招かないよう環境作りに取り組んでいる。	○	左記に実施している。
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	プランター菜園の手入れや鑑賞、洗濯物干しや野外テーブルでの食事・茶話・スケッチ等利用者が楽しく活動や団欒できるよう工夫している。	○	左記に実施している。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない ①
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない ①
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない ①
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない ②

V. サービスの成果に関する項目		
項目		取り組みの成果
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない ②
98	職員は、生き生きと働いている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない ①
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ①
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない ①

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

利用者皆さんの日常生活のメリハリと質的向上を目指してアクティビティを展開しています。内容としては芸術に関連した活動、遊びやレクリエーションに関連した活動、日常生活に関連した活動、対人関係に関連した活動、行事に関連した活動、外出に関連した活動、見当識、回想などが挙げられます。

これらの取り組みは各機能訓練(運動機能、感覚機能、知的機能、社会的機能、心理的機能)に繋がっていると思います。アクティビティ(活動)を通じ利用者皆さんの「生活の質的向上、身体精神状況の把握、周辺症状の緩和(心理的安定)」に日々努めています。

具体的に少し紹介しますと「音読」は職員共通のアクティビティとして位置づけています。利用者さんと一緒になって作成した「たのし荘論語」「たのしい時」「さみしい時」等プリントを皆さん読み上げしています。情緒的安定に繋がっています。プリントは100件程になります、内容の幅が広がっています。ここ最近は回想を積極的に取り入れています。